

入広瀬中学校・守門中学校  
統合準備委員会ニュース

新しい制服はブレザーに決定

平成三十年三月十五日、守門公民館で入広瀬中学校・守門中学校統合準備委員会の第四回全体会が開催されました。魚沼北中学校の制服・体操着や部活動、校章などについて審議し、制服については男女ともブレザータイプとすることに決定しました。

制服・体操着等の基本仕様（決定）		
項目	男子	女子
型	 ブレザータイプ （下衣デザインはメーカーお任せ）	 ブレザータイプ （下衣チェック柄）
基調色	男女とも紺色を基調とする	
価格	男女とも冬服上下及び夏服下衣の合計で37,000円（税別）以内とする	
体操着	青色を基調とし、選考は学校へ一任	
カバン等	カバン・内履きの選考は学校へ一任	

保護者アンケート結果

女子制服型	回答数	率	備考	
セーラー服	48	44%		
ブレザータイプ	60	54%	うち下衣チェック柄	37(34%)
			うち襟有り(上下同色)	15(13%)
			うち襟無し(上下同色)	8(7%)
未回答	2	2%		
男子制服型				
男子制服型	回答数	率	備考	
詰襟	57	52%		
ブレザータイプ	49	45%	ブレザー(下チェック柄)	28(26%)
			ブレザー(上下同色)	21(19%)
未回答	4	3%		

昨年十二月、制服に関する保護者アンケートを実施した結果、女子については、ブレザータイプを希望する声が多かったことから、女子についてはブレザータイプで下衣チェック柄とすることにしました。男子については、詰め襟の学生服を希望する声が多かった結果となりました。しかし、女子の制服とのバランスを考慮し、男子もブレザータイプとする方針に決まりました。

今後は、制服を製造しているメーカーにサンプル

の作成を依頼し、夏頃に入広瀬と守門の二ヶ所で展示会を開催する計画です。

展示会では、児童・生徒及びその保護者から実際にサンプルを見ていただき、保護者による投票で制服を製造するメーカーを決定する予定です。

メーカーが決定次第、リボンやネクタイなど細部のデザインや価格なども含めてメーカー側と調整し、最終デザインを確定します。新しい制服が来年三月の小学校卒業式までに六年生の手に行渡るよう段取りを進めることとなりました。

部活動 四種目を決定

部活動は、練習や大会引率等に顧問が不在となることのないよう各部に正副二名ずつの顧問の配置が必要とします。

統合後の魚沼北中学校に配当される「顧問となる教師」の数は、生徒やクラスの数などを基準として八名と決まっています。正副二名ずつ顧問を配置すると設置できる部活動は四つまでとなります。







こうしたことから両校合せて現在九種目ある部活動について、統合時には四つにすることが求められます。統合時の一、二年生にあたる小学校五、六年生へ、入部希望のアンケートを実施し、その結果や生徒数の予測データなどを基に審議を重ねてきました。

その結果、陸上・スキー部、剣道部、卓球部、吹奏楽部の四種目を存続する方針となりました。

吹奏楽部	卓球部	剣道部	陸上・スキー部
<p>○アンケートの結果から入部希望者が比較的多かった。 ○男女の区別がない。 ○運動を苦手とする子もいることから、文化系クラブを一種目は残したい。</p>	<p>○アンケートの結果から入部希望者が比較的多かった。 ○入部希望者のうち、女子は一人しかいないが、練習は男女共同で可能である。(男女で顧問を分ける必要がない) ○大会は男女別会場で開催されているが、正副二名の顧問制をとることで引率に問題が生じない。</p>	<p>○男女共通の種目であり、男子・女子それぞれの選択の幅が保てる。 ○部員数が少なくなっても個人戦での出場が可能である。 ○柔道部廃止の方向であることから武道系の種目を一つは残したい。 ○入広瀬中から一種目(剣道)、守門中から二種目(卓球、吹奏楽、共通一種目(陸上・スキー))となり、バランスがとれる。</p>	<p>○アンケート結果から入部希望者が最も多かった。 ○個人種目であることから部員の増減に関係なく大会等への出場が可能である。 ○基本的に夏は陸上、冬はスキーで活動する方向だが、陸上のみでスキーはやらないという子も受け入れる方針とするとして、入部しやすい環境を作る。 ※陸上部とスキー部(クロカン・アルペン)の二つを統合</p>

また、一方で柔道部、バスケットボール部男子、ソフトテニス部女子、バレーボール部女子の四種目については、アンケートの結果から入部希望者が少なく、将来的に練習環境の維持や大会参加が困難となる見通しであることから廃止せざるを得ないと判断したものです。

なお、統合時の三年生については、春から夏の各種大会が終了して部活動を引退するまでは、現行の部活動九種目を継続し、各種大会への出場が可能となるよう配慮することとしました。また、統合時の

校章 優秀作品6点	
	「北」は「北斗星」とイメージしました。「北斗星」は遠い古来から暗夜の道しるべとして北の空に一番星として輝いて人々の案内役を担ってきました。「魚沼北中学校」の名前が決まったとのこと。この学校の生徒として誇りを持ち、地域の、学校の一番星の気持ちでまい進できたならという気持ちで。
	シンプルに校名をあしらい、北の青は青い空と澄んだ空気、清冽な水をイメージ。 外輪は鈴木牧之の北越雪譜中の雪の形より「世に雪輪といふハ是なり」
	守門と入広瀬の特徴である雪(結晶)と自然(はっぱ)を合わせました。
	新たな学校の始まりを春の訪れ、新緑にイメージした。 葉の軸を北中の「北」にデザインしてある。
	厳しく豊かな自然の恵みと実りの北部地域で心身を鍛え、よき社会人に成長せんことを願う。 校名候補の「青雲」、「あぶるま」、「美郷」、「美雪」全てを網羅した。 雪の結晶：守門岳の雪…厳しい冬とその恵み 緑色：自然の豊かさ 水色：命を育む清らかな水 黄色：実りに感謝
	入広瀬中学校、守門中学校ともに現在の校章が雪の結晶をモチーフにされているので、雪の結晶をイメージし、中心には「北」をあしらった。

二年生については、三年生引退時に希望調査を実施し、所属する部活動を改めて選択してもらうこととしました。

### 校章 優秀作品六点が決定

#### アンケートによる最終選考へ

校章デザインにつきまして、大勢の皆様からたくさんのご応募ありがとうございました。  
応募総数九十三点の中から専門部会及び全体会での選考の結果、優秀作品六点が選ばれました。  
今後、小学生及び中学生とその保護者に対してアンケート調査を実施し、この六点の中から最終一点を絞り込むこととしました。

### 学校設置条例案可決

#### 校名応募者に粗品を贈呈

平成三十年三月二十日開催の魚沼市議会本会議において、魚沼市学校設置条例の改正案が可決され、平成三十一年四月一日付で魚沼市立魚沼北中学校が設置されることが正式に決定しました。  
なお、校名募集におきまして「魚沼北中学校」で応募された皆様(十九名)には、謝礼として千円分の図書カードを贈呈させていただきました。

発行 入広瀬中学校・守門中学校

統合準備委員会事務局  
(魚沼市教育委員会学校教育課内)